

🔍 いくつかの花を見つけることができるかな？



ミズバショウ
4月中旬～5月中旬



ヒオウギアヤメ
6月下旬～8月上旬



ワタスゲ^{かすい}(果穂)
6月下旬～7月中旬



ツルコケモモ
7月上旬～8月中旬



ツマトリソウ
6月下旬～7月下旬



アカモノ
6月中旬～7月中旬



エゾリンドウ
9月上旬～9月下旬



イワショウブ
8月～9月初旬



モウセンゴケ
7月中旬～8月中旬



アズマシャクナゲ
5月中旬～6月中旬



ムラサキヤシオツツジ
5月下旬～7月上旬



ハクサンシャクナゲ
6月中旬～7月中旬

見分けられるかな? ～「シラカンバ」と「ダケカンバ」～

シラカンバ(シラカバ)とダケカンバはとても似ていますが、よく観察するとちがいが分かります。

まず、木の肌の色を見てみましょう。シラカンバはまっ白ですが、ダケカンバはうすいクリーム色に見えます。

次に、葉っぱを見てみましょう。シラカンバは三角形で葉脈の数が5～8対なのに対して、ダケカンバはハート型で7～12対というちがいがあります。

また、シラカンバは標高1,500mくらいまでしか生育しないのに対し、ダケカンバは2,000mくらいのところまで生育しています。

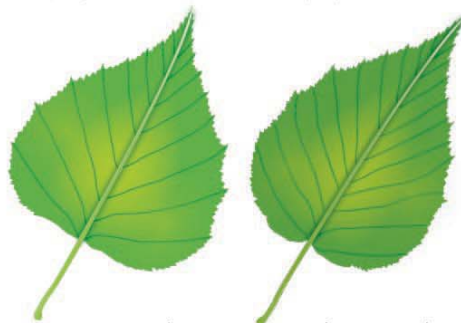
それぞれ漢字で書くと、シラカンバは「白樺」、ダケカンバは「岳樺」と書きます。名前が特徴をあらわしているのが分かります。

ほかにもどんな違いがあるかみんなで観察してみましょう。



シラカンバ

ダケカンバ



シラカンバ

ダケカンバ

ミヤマモンキチョウとクロマメノキのつながり

ミヤマモンキチョウは、群馬県、長野県、富山県の天然記念物になっていますが、草津白根山周辺では「まぼろしのチョウ」といわれるほど数が減ってしまった時期があります。ミヤマモンキチョウの幼虫はクロマメノキをえさとして育ちます。クロマメノキは別名「白根ぶどう」と呼ばれるように実が食用となることから、人間に大量に採取され数が減り、ミヤマモンキチョウが育ちにくい環境になってしまったのです。

その後、地元の自然保護団体やボランティアの協力によって、クロマメノキの保護活動がおこなわれた結果、今では夏になるとミヤマモンキチョウもたくさん見られるようになりました。このように、生きものどうしはそれぞれが深くつながり合っているのです。



ミヤマモンキチョウ



クロマメノキ

7

動物図鑑

🔍 どんない動物に出会えるかな？



オコジョ

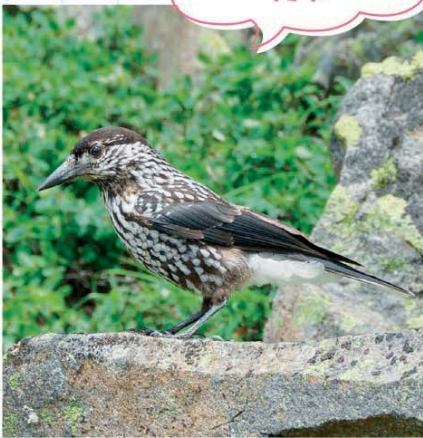


ヤマネ
(国の天然記念物)



ニホンカモシカ
(国の特別天然記念物)

ガアー
ガアー



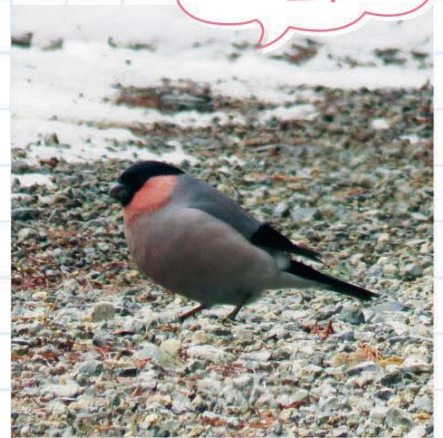
ホシガラス

ゲエ
ゲエ



カルガモ

ヒイー
ヒイー



ウソ



クロサンショウウオ



ミヤマモンキチョウ



アサギマダラ

日本一高いところにいるモリアオガエル

モリアオガエルは日本にしか生息しない種で、天敵^{てんてき}に卵を食べられないように池のほとりに生えている木の枝などに卵を産みますが、芳ヶ平湿原などに生息しているモリアオガエルは水辺の草などにも卵を産みます。標高が高いことや強い酸性の水など、厳しい環境によって天敵が少ないためかもしれません。卵は白い泡の中にあります。池塘や池のほとりに行ったら、モリアオガエルの卵を見つけてみましょう。芳ヶ平湿原にある池塘、渋峠^{どういけ}の塔の池、平兵衛池、大池などで6月ごろ観察することができます。

塔の池は、モリアオガエルの繁殖地としては国内最高標高地点(2,152m)であることが確認されています。



産卵のようす(平兵衛池)



水辺に産みおとされた卵(塔の池)

もし、クマに出会ってしまったら

● はじめに

芳ヶ平湿地群には、もともとクマがすんでいます。クマのすみかに私たちがおじゃましているという気持ちを持ちましょう。



ツキノワグマ

● クマに会わないために、自分の存在をクマに知らせましょう。

クマはとてもおくびょうな性格で、ふつうは人間の気配を感じると、自分から遠ざかってくれます。登山道においてある鐘を鳴らしたり、クマ鈴をつけたりして、クマに自分がいることを知らせましょう。

● それでも、クマに出会ってしまったら、ガイドさんの指示に従い行動してください。

- ・写真をとろうとするのはやめましょう。
- ・あわてず、落ち着いてその場からはなれましょう。
- ・大声を出したり、走って逃げたりして、クマをおどろかさないようにしましょう。

湿原で見つけたものは？

池塘で見つけたものは？

名前が分からないものは、ガイドさんに聞いてみよう！



気づいたこと、新しい発見を書いてみよう



【作成】芳ヶ平湿地群学習プログラム作成委員会

(湯田六男、中村一雄、木村正臣、中之条町教育委員会、草津町教育委員会、群馬県)

【監修】東京工業大学専任講師 寺田暁彦(火山について)

星野薫(チャツボミゴケ公園について)

群馬県立自然史博物館

【写真提供】湯田六男、中村一雄、木村正臣、寺田暁彦、中之条町、草津町、群馬県

【参考文献】

『草津白根山 花と自然ガイド』(湯田六男・ほおずき書籍・2014年)

『上信越高原国立公園パークガイド 草津白根(万座鹿沢)』(一般財団法人自然公園財団・2009年)

『山と高原地図 志賀公園・草津白根山・四阿山』(木村正臣・昭文社・2016年)

『中之条町芳ヶ平湿原周辺自然環境調査事業』(中之条町・(株)ポリテック・エイディディ・2014年)

『湿地と私たちの暮らし』(環境省・2017年)

『尾瀬ミニブック』(群馬県・2018年)

【参考ウェブサイト】

環境省「ラムサール条約と条約湿地」 <http://www.env.go.jp/nature/ramsar/conv/>

気象庁「草津白根山の火山状況」 http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/305.html

国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター「草津白根火山解説」

https://gbank.gsj.jp/volcano/Act_Vol/kusatsushirane/text/exp03-1.html



芳ヶ平湿地群に行く前に
立ち寄ってみよう!



草津白根パーク サービスセンター

TEL 0279-88-6645

※冬季は閉鎖

県や町の 窓口

群馬県環境森林部自然環境課

TEL 027-226-2872

群馬県教育委員会義務教育課

TEL 027-226-4615

中之条町観光商工課

TEL 0279-26-7727

中之条町教育委員会こども未来課

TEL 0279-75-8850

中之条町六合支所(六合振興課)

TEL 0279-95-3111

草津町企画創造課

TEL 0279-88-7193

草津町教育委員会

TEL 0279-88-0005

発行

群馬県環境森林部自然環境課

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

TEL 027-226-2872 / FAX 027-243-7702

リサイクル適性 **(A)**

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

2018年6月 発行